

看護師38人 現場に卒立つ

釧路孝仁会看護専門学校 初の卒業式

(愛国191)は4日、同

校で初の卒業式を行った。

学校が開校した2013年4月から3年間学んだ38人が医療現場へ卒立つた。

卒業式たちは在校生、父母、教職員らが見守る中、1人ずつ名前を呼ばれて壇上に上がり、原田英之校長から卒業証書を受け取った。

学業が優秀だった3人が選ばれ、優等賞が大原那奈さん、努力賞が米田亜希さんと吉田早織さんにそれぞれ贈られた。

原田校長は式辞で「これからが本当のスタート。患者さんと正面から向き合って、援助してあげてください」とエールを送った。

優等賞の大原さんは答辭で「学ぶことが多く、戸惑うこともありましたが、多くの支えがあってここまでこられました。学んだことを磨いて、日々まい進して

いきたい」と述べた。

卒業生は学校を運営する社会医療法人孝仁会傘下の孝仁会記念病院、星が浦病院のほか、市立根室病院などへの就職が決まっている。

(安藤徹)



釧路孝仁会看護専門学校の初の卒業式で卒業証書を受け取る卒業生